

グループワーク



1 不審者について

(1) 子供たちにどう説明するか

(2) 不審者？と思ったときにどう行動

すべきと伝えるか

学校内では？

学校外では？



1 不審者の判断



- 面識がないのに話しかけたり、ついてくる人
- 「変だな」ということを言ってくる人
- 「お菓子」「ゲーム」など興味がありそうなことを言ってくる人
- 子どもを相手に、「困っている」という雰囲気を出しながら近寄ってくる人
- 「かわいい」というようなことを言ったり、行動をしている人

2 具体的には？

- 名前や家、年齢や学校のクラス等を聞いてくる人
- 写真を撮りたがる人（子ども、学校）
- いつも、同じ時間に同じ場所にいる人
大人が来れば、立ち去ろうとする人
- 追いかけてくる人
- 車に乗るように言ってくる人
人気の無いトイレ等の場所に連れて行こうとする人（いいものあげる、ゲームがある etc.）
- 身体を触ろうとする人

3 「おかしいな」と思ったときには

- おかしいと思ったら、その場から離れる
- 誘われても車には絶対乗らない
- 「いやだ」「助けて」と大声で言う
- すぐに逃げる ⇒ 学校・お店・110番の家
大人がいる場所
- 防犯ブザーを押す
- 帰ってから、お父さん・お母さんに説明する
※学校やクラブの先生等に説明する
児童が自主的にできるだけ早く説明

110番通報の 要領

The 110 police emergency call system

通報したらどうなるの？

110番 の仕組み

事件 事故 (INCIDENT)

現場急行 (RUSH TO THE SCENE)

110番 (CALL 110)

高知県警察本部 通信指令課 (KAGOSHIMA PREFECTURAL POLICE HEADQUARTERS COMMUNICATION COMMAND CENTER)

110番通報はすべて警察本部通信指令課につながります

警察署 (POLICE STATION)

指令 (COMMAND)

いたずら電話は絶対によめましょう!

110番は「緊急の事件・事故」専用の回線です

The 110 police emergency call system

事件 緊急の 事故 場合は 110番

6 110番のかけ方のポイント (Six Points to remember when you call)

- 1 何があったのか？ (What happened?) 交通事故・泥棒・けんか など
- 2 どこであったのか？ (Where did it happen?) 町名や番地・目立つ建物 など
- 3 いつあったのか？ (When did it happen?) 「5分前」・「たった今」 など
- 4 犯人は？ (Describe the suspect or criminal) 人数・人相・年齢・服装 特徴・逃げた方法や方向 など
- 5 今どうなっているのか？ (How is the situation now?) 被害・事件・事故の状況 など
- 6 あなたの住所・名前は？ (Address / Name / Phone/Contact number) 電話番号、事件・事故との関係 など

土佐 太郎 高知市 100-XXXX-1234

各種相談は警察相談電話「#9110」

高知県警察 (KAGOSHIMA PREFECTURAL POLICE)

グループワーク ～「110番通報」の練習～

シチュエーション

- ここは、あなたが稼働する
放課後子ども教室 or 放課後児童クラブ です
 - 子ども教室が行われている教室前の廊下
or 児童クラブが開設されている室の出入口 において
 - 部屋の中をのぞきこんでいる見知らぬ中年男性がいます
- ▶ 目の前で起こる状況を見ながら、110番通報してください
- ▶ 110番通報受理者として、その状況を聞き出してください

グループワーク ～「110番通報」の振り返り～

気を付けてほしいこと

- 「110番」は、高知市の警察本部通信指令課へ接続されます
(県境に近い場合は、隣接県警察へつながることもあります)
- 落ち着いてお話してください
受理者が順番におうかがいします
また、電話を一方向的に切らないようにお願いします
- 県民のための緊急ダイヤルです
誤報や虚報は、事件・事故対応を遅らせる原因になります
児童が、いたずらや不注意で発信することがないように、周知にもご協力ください

3. 時間を稼ぐために (警察や学校関係者が駆けつけるまでに)



さすまたの使用

身近なものの活用
(傘、パイプ椅子、
箒、石や砂等)

時間を稼ぐ

みんなで対応する

安全を確保する

ホイッスル・防犯
ブザーの吹鳴

合言葉を決める
など訓練の実施

警察が到着するまで
リスポンスタイム
があります。

平均8分

さすまた（制股）・ネットランチャーの活用



3. 時間を稼ぐために (警察や学校関係者が駆けつけるまでに)



さすまたの使用

身近なものの活用
(傘、パイプ椅子、
箒、石や砂等)

時間を稼ぐ

みんなで対応する

安全を確保する



ホイッスル・防犯
ブザーの吹鳴

合言葉を決める
など訓練の実施